

ファイト

No-19

戦績：16戦12勝(5KO)3敗1分

8月30日 後楽園ホール

8ラウンド判定勝ち！

8月30日、『DANGAN 81』のセミファイナルに久しぶりに赤コーナー側から登場した大は相手を直視し自信に満ち溢れていた。対戦相手は増田靖之選手(戦績：11戦7勝1KO4敗、石神井ジム)で右オーソドックススタイルの中堅選手である。

序盤、1R～3R

衝撃的なスタートだった。1ラウンド開始1分20秒。大の右ストレートが増田選手の顎に見事にヒットし増田選手は青コーナー側に仰向けにダウン。相当に効いたようで立ち上がっても朦朧とした状態。早々と決着かと思われたが、大の攻撃が短調になったのと増田選手の頑張りから大はフィニッシュを逃してしまう。2～3ラウンドも大の左ジャブ、左ボディ、右ストレートが要所要所で決まり、安心して観ていられる展開だ。

中盤、4R～6R

4ラウンドに大はバッティングで右頬をカットし、増田選手はバッティングで左頬をカットする。試合展開は序盤と同様に大のジャブ、ストレート、ボディが増田選手を捉えるが、増田選手の左フックも大の右顔面にヒットするようになる。

終盤、7R～8R

大の疲れが目立つようになり手数も減ってきた。大のパンチはヒットするが序盤のような力強さや切れが無くなってきている。増田選手が息を吹き返してきたようだ。いつもは相手選手のパンチを殆んど被弾しない大なのだが、疲れのため反応が鈍くなっており被弾数が増えてきた。

結局8ラウンド終了で、3人のジャッジ判定は、80:73、78:74、78:74、となり3:0の圧勝で大の判定勝ちとなった。勝負としては文句のない判定勝利なのだが、やはり課題点は前試合同様に圧倒的に有利であるにもかかわらず1ラウンドで決めるべきところでキチッとKOが決められなかったもどかしさが残る試合展開だった。また、今回の試合でもバッティングで右頬をカットしたが、攻撃時の頭の位置を考える必要があるだろう。バッティングを恐れて消極的になる必要はないが、バッティングを避ける練習は必須だ。

エイトマンの入場曲に乗って赤コーナーから登場した大は自信に満ちていた。どこに成長原因があるのかを考えると、ボクシングというスポーツは肉体(フィジカル面)は勿論だが、肉体以上に重要な位置を占めるのが精神(メンタル面)の安定だと思う。大は昨年10月の阿部隆臣選手との敗戦を契機に精神的に随分成長したのは明らかであり一皮むけた感じがする。その結果、今年になって3連勝である。

岩井大の試合後の感想

今回の試合は、ようやく自分のやりたいボクシングを貫くことができるようになってきましたが、それと同時に奥深さも痛感しました。16戦目にしてですけれど……。



岩井 大 ファンクラブ機関紙(年4回発行)

発行者：岩井 淑

住所：〒262-0032

千葉県花見川区幕張町4-2 LM3-104

連絡先：Tel:043-272-0825 Fax:043-272-0825

URL：http://www5.ocn.ne.jp/~ku-chan/index.htm

Mail：iwai-8man@muse.ocn.ne.jp

2013.8.30.後楽園ホール



1ラウンド 右ストレートで増田選手ダウン



6ラウンド、右ストレートが増田選手の顔面にヒット



【声援1】I・Hさん

大くんもだいぶボクサーらしくなりました。増田選手もガッツありそうだね。なにより赤コーナーの呪縛から解き放され、いよいよこれからだね。

【声援2】I・Kさん

大ちゃん勝利おめでとう。また、次の目標に向かってGOだね。頑張れー！

【声援3】I・Eさん

赤いグローブ、いいねー。これからも勝ち進んで欲しいね。アッパレ！

【声援4】S・Kさん

勝利おめでとうございます。良かった！良かった！30日は仕事で応援に行けなくてごめんなさい。

【声援5】S・Aさん

大くんの勝利を大変嬉しく思います。次の機会にまた是非応援参加させてください。

おやじのひとこと

スポーツ選手を見ていると感ずることだが、選手は徐々に成長するのではなく何かを契機に一気に上昇していく時期があると思う。大の場合は、その時期がボクシングを始めて5年目の2010年11月の松崎博保選手との一戦であり、そして8年目の今年が2度目の成長の時期に来ているのだと思う。次の試合も勝つだろう。